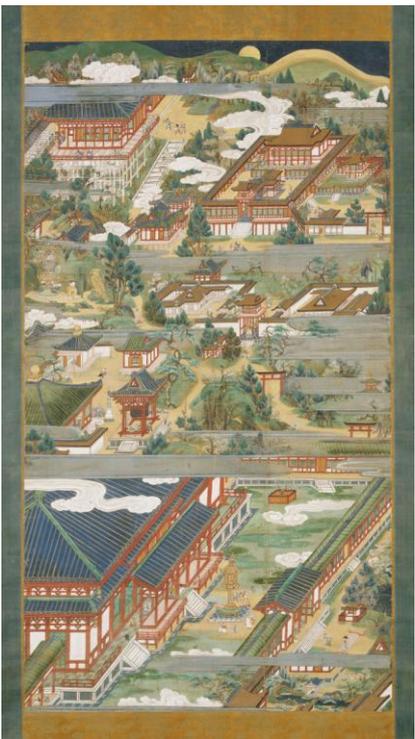


平成24年度購入文化財一覧

【奈良国立博物館】(計2件)

<p>1</p>	<p>○種 別 ○名 称 ○員 数 ○時 代 ○品 質 ○寸 法 等</p> <p>○作品概要</p> <p>○購入金額</p>	<p><絵画> 絹本着色東大寺曼荼羅 (けんぼんちやくしよくとうだいじまんだら) 一幅 室町時代 16世紀 紙本墨画 掛幅装 (本紙)縦132.3cm 横72.1cm (表具)縦208.3cm 横83.4cm</p> <p>2幅1鋪の画絹に、大仏殿をはじめとする東大寺の伽藍を、画面上方を東として描く。堂宇は基本的に本図製作時の東大寺の伽藍を写している可能性が高い。景観中には僧侶や参詣者の男女が製作時期の風俗で描かれるとともに、縁起の伝説的内容も描きこまれており、室町時代頃から江戸時代にかけて盛行した社寺参詣曼荼羅に共通する特色を示す。作風の特色から室町時代(16世紀)の南都絵所の作と考えられ、入念で秀逸な絵画表現が評価される。室町時代後期の東大寺伽藍を描いた絵画として資料的価値が高いだけでなく、室町時代の南都の寺院景観図としても類例のない貴重な作品である。</p> <p>24,150,000円</p>	
<p>2</p>	<p>○種 別 ○名 称 ○員 数 ○時 代 ○品 質 ○寸 法 等</p> <p>○作品概要</p> <p>○購入金額</p>	<p><書跡> 古写経断簡集 (こしやきょうだんかんしゅう) 一卷 奈良~平安時代 8~12世紀 紙本墨書 紺紙金字 卷子装 縦26.0cm 全長1281.0cm(見返し・軸付部を除く) 表紙縦25.8cm 表紙横25.7cm</p> <p>奈良時代から平安時代頃の古写経の断簡49点を、卷子状の台紙に間隔を空けながら貼りこんだものである。断簡と断簡の間の空白部分には、左に続く写経に関する説明文が書かれている。49点の中には年紀を含む識語を持つ断簡が3点あるが、うち1点はこれまで全く知られていない新出の史料である。また、本品にはかつて法隆寺一切経を構成していた経巻から出たと思しき断簡が多く含まれるほか、断簡の合間に記述される説明文によると、唐招提寺、東大寺、興福寺等から出た断簡もあるとされる。本品は古写経の伝来や流出に関わる重要な情報を秘めている可能性があり、研究資料として価値が高いといえる。</p> <p>3,150,000円</p>	